



RESOLUTION No. 22) TRADE

第22号決議) 貿易

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日-30日、南アフリカ・ダーバン

以下を決議する

- グローバルユニオン・フェデレーション、加盟組合、市民社会の支援団体と共に、世界で公共サービスの資金調達と提供を脅かす国際貿易協定に反対する。
- 組織的に人権と労働組合権を侵害している国々とのいかなる貿易協定にも反対するためにグローバル・フェデレーション、加盟組合、市民社会団体に加盟する
- アジア太平洋地域で交渉中の環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) に反対するグローバルユニオン・フェデレーション、加盟組合、市民社会の支援団体と協力する。
- TPPはじめ、二国間および多国間貿易協定に反対を表明する南側諸国の組合を特に支持する。
- 欧州の労働組合、欧州の市民社会の支援団体、欧州議会の進歩的メンバーと共に、カナダEU包括的経済貿易協定 (CETA)に反対する。

理由は以下のとおりである。:

- TPPやCETAのような国際貿易協定が現在急速に進められ、秘密裏に交渉されている。
- これらの協定は、地方政府と国家政府の政策決定力をそぎ、公共サービスへの企業の参入を増やし、結果的に重要な公共サービスの民営化を招く。
- 民営化は、公共サービスの利用が不平等であることを意味し、社会で最も不利な立場にある人々に害をもたらす。
- 民営化と企業の利益追及は、公共サービスを提供するコストを高め、提供されるサービスの質を低下させる。
- 国際貿易協定は世界の多くの国において、労働組合員、人権擁護者、先住民族の人権侵害を見逃し、多くの例で悪化させている。
- コロンビアにおいて人権と労働組合権が甚だしく侵害されており、この協定が同国における公共サービスに脅威を及ぼすことから、欧州とコロンビアの組合と共に、EU-コロンビア自由貿易協定に反対する

連帯、国際協力、労働者の動員があれば、われわれはこうした戦いに勝利することができるだろう。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#) を参照のこと